



門川町立草川小学校 校長室便り

草小HPへ



令和4年度 第5号 (令和4年9月15日発行)

R4教育目標 : 夢に向かって 自ら学び 心豊かな たくましい 草小っ子

全国学力・学習状況調査(6年生)の結果から ~ 文章表現や解くスピードに課題 ~

全国の6年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月末に本校にも届きました。早速、夏休み中の職員研修で、本校6年生の正答率が低かった問題や無解答率が高かった問題などを、全職員で解いて分析しました。そして、“6年生の結果” = “全学年の結果” という認識のもと、12月に行われる「みやざき学習状況調査」(5年生)やCRT(5年生以外)に向けて、今後の具体的な対策(指導方法の見直しや重点的に指導すべき内容の洗い出し等)を学年別に話し合っていました。

【国語】・・・本校平均が全国平均を10%以上下回る問題で、かつ無解答率が20%以上の問題

A 物語文(全6ページ)を読んで、その物語文を推薦する文章の続きを、条件(①物語から伝わってくることを書く、②10~30字以内)に合わせて書きましょう。

B 下線部(したしむ)を漢字で書きましょう。

【考察】特にAの問題では、読解力に加え、自分の考えを条件に合わせて表現する力が求められるため、普通の授業でも、条件を与えながら自分の考えをしっかりとノートに書かせる活動を重視したい。

【算数】・・・本校平均が全国平均を10%以上下回る問題で、かつ無解答率が10%以上の問題

A オレンジの果汁が40%含まれている飲み物があります。この飲み物1000mLには、果汁が何mL入っていますか。

B りんごの果汁の割合が30%(果汁が30mLのときに飲み物の量が100mL)で、果汁の量が180mLのときの飲み物の量は何mLになりますか。180mLが30mLの何倍かをどのように求めたのかが分かるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

【考察】A・Bの問題ともに、割合の意味が十分に理解できていないことが要因。何を基にしての割合なのかが十分にイメージできていないことが予想されるため、機械的に立式させるような指導ではなく、図・表をしっかりと描かせた上で、式の意味を説明させるような指導を日常的に心がけたい。

以上のように、最近のテスト問題は、教科を問わず、知識・技能がどれだけ身に付いたかどうかを測るだけでなく、条件に合わせながら自分の考えをまとめたり表現したりさせる問題が増えてきています。このことは、高校入試や大学入試の問題でも同じことが言えます。これからの社会では、そういう力(知っていること・できることが実際にどう使えるのか・・・という力)が求められているということですね。今回の調査では、解答時間が不足した児童の割合が全国平均よりも高かったことも分かりました。

【テストの解答時間は十分でしたか?】・・・「やや足りなかった」と「全く足りなかった」の合計(%)

◆国語(45分)・・・本校37.3>全国34 ◆算数(45分)・・・本校29.4>全国16.6 ◆理科(45分)・・・本校17.7>全国9.2

草川小学校区「津波てんでんこ訓練」終了

～ 初の学校単独実施 ～

昨年度まで、町教育委員会が主催してきた「町内小・中学校一斉下校時避難訓練」ですが、今年は各学校ごとに行うことになり、本校が先陣を切って9月7日(水)に実施しました。

本校では、子どもたちだけの学校行事にするのではなく、平日に行う地域全体の防災訓練にするために、本番まで次のように準備や計画を進めてきました。

- 1 6/22 学校運営協議会で計画を協議・・・参加依頼等の分担
- 2 8/1 チラシ配付、地区回覧・・・PTAがチラシ作成
- 3 8/1 防災会議①を開催・・・消防団との打合せ
- 4 8/23 防災会議②を開催・・・区長・民児委員との打合せ
- 5 8/29 図上訓練を実施・・・県防災士・門川高校生の協力
- 6 9/7 防災授業を実施・・・訓練直前に実施(自由参観)
- 7 9/7 訓練本番
- 8 11月(予定) 学校運営協議会で反省

今回、校区内の企業様にも参加いただきました!

- ・クリエイト様(タンク山へ14名が避難)
- ・センコー様(学校屋上へ6名が避難)
- ・旭マルキガス様(タンク山へ2名が避難)
- ・安井様(避難場所の提供)



今回の訓練の様子が、9月25日(日)9:50から「のびよ、みやざきっ子」という番組で放送されます!

当日は、消防団(17名)をはじめ、区長さんや民生児童委員さんなど、たくさんの協力をいただきながら安全に訓練を実施することができました。子どもたちは、複数の避難場所から最も近い場所・経路を自分たちで考えて避難することができました。地域の皆様も、それぞれのスタイルで参加いただき、予想以上の成果が得られたと思っています。反省を生かし、来年は更なる「てんでんこ」を目指します!